

1Fの安全統一ルール 22カ条【第10回】



昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、2カ条ずつ内容を紹介しています。

第19条「検電の確実な実施」

電気に関する工事や作業を実施する際には、感電の恐れがありますので、毎日確実に検電を実施するようにしましょう。また、検電器は汚れているものや湿気のひどいものは使用せず、使用後は掃除するようにしましょう。

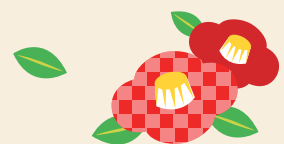
第20条「全分電盤（仮設含む）への施錠管理」

全分電盤は電気に関する制御装置を収容しています。鍵をかけ忘れると、盗電や不正改造の恐れがありますので、全分電盤（仮設含む）の施錠管理は必ず実施するようにしましょう。（作業中管理下にある分電盤は除きます）

いこいの時間

絵合わせ

今月は絵合わせです。
絵は福島県白河市の「白河だるま」。
6つの絵の中には同じ絵が
2つだけあります。
おわかりになりますか？



応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通入口にある応募箱に
必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 2月20日～3月6日

＊応募用紙は応募箱横に設置しています。
＊当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
＊答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

福島名産のお菓子の
詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる場合
がございます



1FOR ALL JAPAN ウェブサイトの紹介

<http://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2017年2月号

【発行日】2017年2月20日
【発行】
1 FOR ALL JAPAN 事務局
(東京電力ホールディングス SC室)
【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp

ウェブサイトはこちら！



福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

月刊 いちえふ。 2月

INDEX

- いちえふのいま
2、3号機の燃料取り出しに向け
大きな前進がありました
- 1Fを守る仲間たち
● 前枝建設
名畑 崇さん
● 東芝・鹿島建設
3号機原子炉建屋カバーリング工事に携わったみなさん
- 1Fの安全統一ルール22カ条【第10回】
- いこいの時間
絵合わせ
プレゼント
福島名産のお菓子の詰め合わせ



とびっくす

安全総決起集会が開催されました！

平成29年1月19日、作業員のみなさんと一緒に、今年一年の無災害を目指し、安全作業で取り組むことを誓いました。



火災が発生しやすい季節です

空気が乾燥しやすいので、火の元に注意しましょう。喉の乾燥にも気をつけてインフルエンザ予防も心がけましょう。



いちえふのいま



2、3号機の燃料取り出しに向け 大きな前進がありました

原子炉に残された燃料の取り出しに向けて、準備作業が着々と進んでいます。2号機では、配管貫通部に空けた穴を通して、カメラを内部に入れて事前調査をしました。その結果をもとにして、2月からは口ボット（自走式調査装置）を内部に入れて本格的な調査を行います。3号機では、燃料取り出し用のカバーを取り付けるためのストッパと呼ばれる部材を、原子炉建屋に取り付ける工事が始まりました。

港湾内の海底では、放射性物質が広がらないようにするため、表面の土を覆う工事が進められていましたが、2016年12月26日に完了しました。また陸側遮水壁については、井戸からの汚染水の汲み上げ量が減り続けていることから、しっかりと凍結して建屋周辺への水の流入が減っていることがうかがえます。

1Fを守る
仲間たち24 前枝建設
統括部長 名畑 崇さん1F構内に駐車場と道路を整備し
通勤渋滞緩和に取り組んでいます

現在、1Fで働く作業員の多くは隣接地域から通勤しています。これまでは、駐車場としてJヴィレッジを貸していただいておりますが、2016年11月末の返還に伴い、駐車場と周辺道路の整備が必須の課題になっています。1Fでその作業に取り組む前枝建設の名畑さんに、お話をうかがいました。

—— いまはどのような仕事を担当されていますか。

1Fの新事務本館裏側にあたる部分で、駐車場の整備工事と周辺道路の工事を担当しています。いままで更地だったところに駐車場を造成し、それに伴い狭い前面道路の幅を大きくする作業です。計画中の駐車場は400台から500台入る規模です。駐車場が足りず、自家用車での通勤がままならない現状から見れば不十分かもしれませんが、まずはこれが必要な一歩になるのだと考えて整備工事に取り組んでいます。

—— 一般の建設現場より安全を意識できる場所

—— 仕事のうえで工夫されたことはありますか。

とくに意識して工夫した点はないのですが、線量計を身に



ブラックバス釣りに出かけるのが休日の楽しみ

つけるなど原発構内でのルールをしっかりと守り、当たり前前の作業の一つひとつきちんとこなしていくことが何よりも大切だと考えています。そして、重要なのが報告です。一般の建設現場とは違うので、いつも以上に注意して逐一報告するようにしています。それによってトラブルを未然に防げますし、翌日の仕事を円滑に進められるようにもなります。

また、ここは一般の建設現場よりも安全についてより強く意識する現場で、一に安全、二に安全ですから、若い社員たちの安全意識を高める教育のためにはむしろ最適な場所だと考えています。自分自身が意識することはもちろんですが、社員たちの安全指導にも力を入れています。

—— 仕事のやりがいはどういうところに感じますか。

駐車場整備と道路拡幅はまだ完全に出来上がったわけではなく、作業中の状態ですが、その前に手掛けた除染と地面を覆う工事が終わったときは達成感がありましたね。

また、一日でも早く駐車場を整備し、車が出入りしやすいよう道路を拡幅することで廃炉の達成に貢献しようと、仲間たちとも日頃から話しています。

つと
お勤め先

有限会社前枝建設

1993年大阪にて創業。土木・道路・水道工事などを手がけてきた建設会社。道路舗装・整備をはじめ地盤改良、鉄道、配管など多様な工事に対応できる技術とノウハウを有している。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/24/>

25 東芝・鹿島建設
3号機原子炉建屋カバーリング工事に携わったみなさん会社は違っても同じ作業着を着れば
同じ目的を持つ仲間という意識になる

3号機では、原子炉容器に残された燃料の取り出しに向けて作業が進んでいます。これまでの除染と遮へい作業により、原子炉建屋の最上階の放射線量を低くすることができました。今後は、屋根カバーをかけて、燃料取り出し作業に向かっていきます。今回は、そうした3号機原子炉建屋カバーリング工事に携わったみなさんにお話を聞きました。

—— どういう分担で仕事をされたのですか。

野地さん：除染、遮へいについては、実際の作業を私たち鹿島建設が担当しました。そのうち、肥田と菊池と私がいる第4グループが現場での作業を行いました。

長谷川さん：私は、主に遠隔操作機械の保守を担当しました。誰も経験がない場所で動かすので、思いもかけない問題が出てくることがあります。そんなときは作業員の声を聞き、社内外の知恵を結集して一つずつ解決していきました。

代田さん：私は現場での放射線管理が仕事です。線量が高い場所での作業なので、作業員の被ばく線量を少なくする努力をしてきました。

高橋さん：ガレキ撤去は、鹿島建設さんと分担して進めてきました。除染、遮へいについては、鹿島建設さんが行った工事を受けて、私たち東芝が放射線量の測定をしています。今後は、燃料を取り出すための装置を開発して、その運転を支援することが大きな仕事になります。

「誰にとっても初めての現場なので
試行錯誤しながら手探りで進めてきた」



—— どのようなことが難しかったのでしょうか。

菊池さん：最初は、どうすれば線量が下がるのか、手探りの状態でした。どこから強い放射線が出ているのか、その「線源」を特定するのに時間がかかりました。

山田さん：こうした現場は初めてですから、試行錯誤の繰り返しでした。例えば、線量計の計器そのものはこれまでと同じものを使うのですが、現場は高線量ですから人が持つといっ

Message

福島や日本の安全・安心のために、緊張感を持って仕事に取り組んでいます。



(写真左上から時計回りに)

は せ が わ よ し ひ で
長谷川 義秀さん(鹿島建設) の じ あ き ひ こ
野地 明彦さん(鹿島建設)
き く ち あ つ し
菊池 淳さん(鹿島建設) し ろ た い ち ろ う
代田 一郎さん(鹿島建設)
た か は し じ め ん
高橋 純さん(東芝) や ま だ よ し ひ ろ
山田 芳弘さん(東芝) ひ だ た い め い
肥田 泰明さん(鹿島建設)

て測るわけにはいきません。そこで、クレーンで線量計を吊り下げて、遠隔操作で測る方法を考えて、それに合うシステムを作るということもありました。

—— 1Fとほかの現場では仕事に違いはありますか。

肥田さん：1Fの仕事は、ほかの仕事にはない気持ちにさせてくれます。一般の建設工事では、どうしても利益を考えないわけにはいきません。ところが、1Fではそうしたお金のことよりも、1日も早く燃料を取り出して、地域や日本のためにになりたいという目的意識が強くなるのです。また、同じ建設業者の方々は、ライバルというよりも、同じユニフォームを着た仲間だという意識がすごく強くなるのが不思議ですね。

お仕事内容

3号機原子炉建屋カバーリング工事

3号機の原子炉格納容器から燃料を取り出すことを目的とし、建屋のカバー取り付けのための作業を東芝と鹿島建設が共同で実施。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/25/>

Message

1Fに通勤するみなさんのために駐車場を整備し、渋滞緩和に努めることで、廃炉の実現に向け貢献したいと考えています。

